

生活支援体制 整備事業だより

R4 第2号 令和4年7月発行

遠賀町社会福祉協議会

☎293-0430

(担当 三根・矢野・曾川・安増)

令和4年7月現在の各校区における協議体の様子をお知らせします！
多種多様な人たちが集い、町内の助け合い等について議論しています。

浅木校区 ver.

【今回の参加者】

(東和苑) 区 長	石本一豊 さん	(芙蓉) 民生委員	平川賢治 さん
(木 守) 公民館長	石井佐千生 さん	(上別府) 老人クラブ	米加田正子 さん
(浅 木) 福祉施設	森 泰子 さん	(老 良) 一般公募	添田秀代 さん
(若葉台) 一般公募	萬徳寛子 さん	(虫生津) 一般公募	古野かよ子 さん



第3回から、浅木校区協議体に多種多様な新メンバーが加入してくれるようになりました。

そこで今回は、せっかく新メンバーにお集まりいただいたので、皆さんに『自分たちの知っている集い場(=助け合い)』について伺いました。公民館での活動に加え、菜園でのおしゃべり会の情報等、たくさんの情報をいただくことができました！

残念ながら、コロナ禍で多くの集いが無くなっているなという印象もありますが、現状を見える化することで、改めて、集うことの大切さを共有できたと感じます。

《第3回浅木校区協議体の流れ》

1. これまでの振り返り
2. なぜ、地域の集い場が大切なのか？
3. 地域の集い場にシールを貼ろう！

浅木校区の地図

自分たちが知っている集い場 … ●
今後集い場になりそうな場所 … ●



島門校区 ver.

【今回の参加者】

(島津)区 長 矢野 英昭 さん
(鬼津)区 長 豊沢 淳一 さん
(尾崎)区 長 門司 賢治 さん
(田園北)区 長 堀田 敏明 さん
(田園南)公民館長 篠崎 重信 さん
(今古賀)区 長 加藤 秀邦 さん



第2回目の協議体活動では、「高齢者見守り訪問活動の理想形」について、語って頂きましたが、理想よりも、具体的に何ができるかについて、下記のようなご意見がありました。

1. 徘徊したり、家が分からなくなった高齢者に対応できるような校区内の行政区で連絡の協力体制を作ったらどうか。
2. 民生委員児童委員が作成したあんしんカードが役に立ったので、そういった物を外出時は必ず持つて出るということができればいい。
3. 「見守られる側」のサインがあれば、誰でも気軽に見守ることができるようになるのでは。

次回以降の参加メンバーについては、民生委員児童委員の皆さんが地域の福祉についてはよく理解されている。通所介護事業所は、地域の利用者についてよくご存じだろう。といった意見が出されました。いろんな方々が手をつないで話し合うことが大切だし、理想だが、実際は、昔のように手を繋ぐことができていないといった厳しい意見もありました。

広渡校区 ver.

【今回の参加者】

(遠賀川)区 長 大内田悦雄 さん
(新町)区 長 白川 弘之 さん
(中央)区 長 吉村 達雄 さん



前回を受けて、7月10日に第2回第2層協議体を開催しました。

高齢社会の中で益々増えると言われている認知症高齢者の方に地域としてどんな活動ができるか、前回の話し合いで出た「認知症の研修会」について話し合ってくださいました。

研修会の開催だと、特定の方の参加しか見込めないのではないかと。

一口に認知症といってもそれぞれに軽度・中度・重度の段階的に症状は変化するのは。

実際に認知症の介護をされた方の意見をもっと聞けると良いけど。

いろんな意見が出た中で、「相談会」はどうだろう。やり方や相談会の名前は今後考えるとして、相談できずに困っておられる方々が、知られていないだけで地域にはおられるのではないかとといった話に纏まり、今後、継続してはなしあうこととなりました。